

2024年9月30日

各位

ENEOS株式会社

国内初となる原料から一貫製造可能な合成燃料製造実証プラントが完成 ～合成燃料製造実証プラント完成式典を開催～

当社（社長：山口 敦治）は、かねてより中央技術研究所（神奈川県横浜市）内において建設を進めていた合成燃料製造実証プラント（以下、実証プラント）が完成し、9月28日（土）に同所において完成式典を開催しましたので、お知らせいたします。

実証プラントは、原料から合成燃料を一貫製造できる日本初のプラントであり、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）「グリーンイノベーション基金」のご支援^{※1}のもと建設し、実証運転を開始しました。原料となるCO₂フリー水素を製造する過程においては、日本で初めてグリーン電力^{※2}が使用されています。実証プラントの製造規模は1バレル/日^{※3}となります。

完成式典では、実証プラントの見学および自家用車へ給油・走行体験を実施し、ご来賓の方に実証プラントの規模感や、ガソリンと同等の走行性能を体感いただきました。

今後、実証プラントでの検証を通じて、スケールアップに向けた知見を獲得することで、合成燃料製造技術の早期確立を目指します。また、製造した合成燃料は、2025年4月より開催される大阪・関西万博での大型車両走行実証等に活用される予定です。

ENEOSグループは、長期ビジョンに掲げる「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向け、挑戦を続けています。エネルギー・素材の安定的な提供という「今」の責任を果たしながら、「将来」もその責任を果たし続けるために、エネルギートランジションを追求していく必要があります。

当社は、カーボンニュートラル社会への貢献が期待できる合成燃料の取り組みを含め、今後もさまざまなエネルギートランジションへの取り組みを推進してまいります。

※1 CO₂からの合成燃料製造技術開発が、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」）の「グリーンイノベーション基金事業/CO₂等を用いた燃料製造技術開発プロジェクト」に採択

※2 非化石証書（再エネ指定有）の電力を調達

※3 1バレルは約159リットル

【完成式典の様子】

<テープカット>



<ご来賓の国会議員および官公庁の皆様>

- 左から1人目 国産バイオ燃料・合成燃料推進議員連盟事務局長 衆議院議員 大岡 敏孝 様
同2人目 国産バイオ燃料・合成燃料推進議員連盟副会長 衆議院議員 山際 大志郎 様
同3人目 元経済産業副大臣元大阪府知事 参議院議員 太田 房江 様
同4人目 自由民主党幹事長代行 総合エネルギー戦略調査会会長 元経済産業大臣
衆議院議員 梶山 弘志 様
同5人目 自由民主党前幹事長 国産バイオ燃料・合成燃料推進議員連盟会長 衆議院議員 甘利 明 様
同6人目 ENEOSホールディングス株式会社 代表取締役 社長執行役員 宮田 知秀
同7人目 ENEOS株式会社 代表取締役 社長執行役員 山口 敦治
同8人目 経済産業大臣政務官 石井 拓 様
同9人目 経済産業省 資源エネルギー庁長官 村瀬 佳史 様
同10人目 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長 斎藤 保 様
(式典ご参加)
- 前内閣総理大臣 衆議院議員 菅 義偉 様
国産バイオ燃料・合成燃料推進議員連盟事務局長元 F1ドライバー 衆議院議員 山本 左近 様

<給油体験の様子>



<装置説明の様子>



<合成燃料製造実証プラント全体像>



以上